

枚方市立図書館第2次グランドビジョンの進捗状況一覧（平成23年度）（案）

（評価凡例 平成27年度末を目標達成期限として  
 ◎：目標達成 ○：順調に進捗 △：進捗がやや遅れている ×：未着手）

資料2

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向性	実績	評価
1 ・市民の生涯学習を支援する図書館をめざします	1-1	図書館利用者層の拡大	①利用者の年齢層にも配慮した図書館活動や広報活動の推進によって、実利用者率25%をめざす。 （実利用者率＝1年に1回以上図書館で貸出サービスを利用した市民等の全市民に対する割合）	●乳幼児対象のおはなし会から成人読書会や大人のためのおはなし会など、年齢層を意識した各種行事の開催、お薦め本リストの作成・配布、ボランティアの機会提供、大活字図書の提供等を行った。 ●図書館のイベント情報やお知らせを掲載した「図書館だより」の発行やホームページを通じた情報発信を行った。また、子ども向け図書館利用案内を市立小学校全校の新1年生に配布した。 ●図書館の各種行事の参加人数は延べ16,822人。 ●平成23年度の実利用者率は、20.4%。	△
	1-2	子ども読書活動の推進 （学校図書館等との連携）	①枚方市子ども読書活動推進計画（第2次）を策定する。	●「第2次枚方市子ども読書活動推進計画」の策定に向け、庁内委員会である「枚方市子ども読書活動推進計画策定検討委員会」を設置し読書アンケートを実施するなど検討を行った。また、計画案についてパブリックコメントを実施した。（パブリックコメント：平成24年1月5日から1月25日）	○
			②各種イベントの継続によって、乳幼児・児童から中高生を中心とするヤングアダルト（YA）層までの子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しめる環境づくりを推進する。	●ほぼ全館で取り組んでいる定期的な「おはなし会」、子どもたちに絵本を紹介するための事業「ひらかた絵本まつり」、「ひらかた絵本とおはなし じゅずつなぎ」の他に、男性を対象とした「読み聞かせ入門講座」を開催したほか、絵本作家によるワークショップ、読書力をより深めることを目的とした第7回目となる小中学生を対象の「暗唱大会」を開催した。さらに、子ども夢基金を活用して「絵本と音楽の出会いコンサート」を開催した。 ●児童書の貸出冊数は1,016,422冊 ●子ども読書活動推進に関わる各種行事の参加者人数は、延べ14,979人。 ●各種団体への児童書の団体貸出冊数は46,156冊。	○
			③中央図書館2階のこどものフロアの開館時間を午後7時まで延長する。	●平成24年4月1日から子どもフロアを午後7時まで開館するための準備を進め、枚方市立図書館条例施行規則の改正を行った。	○
			④学校図書館への技術的・実務的支援を行うなど、市立図書館と学校図書館の連携を推進する。	●学校図書館との連携の推進については、全市立小中学校に図書館サービスの内容を通知し、図書の団体貸出や学校訪問おはなし会などのサービスを行うとともに、司書教諭への研修等も行った。 ●学校図書館への読み物等の図書の貸出を行う読書支援サービスを市立小学校43校に、また授業等で使用する図書の貸出を行う調べ学習用図書の貸出サービスを市立小学校43校、市立中学校13校に対し実施した。 ●学校訪問おはなし会を市立小学校22校で実施した。 ●図書館職員が講師となる市立小中学校の司書教諭を対象とした研修を3回実施した。 ●中学校への職業講話講師派遣を1回実施した。	○
			⑤子ども読書活動を支援するボランティアや団体の育成に努める。	●「読み聞かせボランティア養成講座（入門編）」を4回実施（延べ102人参加）した。	○
	1-3	成人サービスの充実	①図書や雑誌、オーディオビジュアル資料、商用オンラインデータベースなどの幅広い情報を提供する。	●成人の利用促進に向けて、教養・娯楽だけでなく、課題解決のための図書館利用も意識した、図書や雑誌、オーディオビジュアル資料、商用オンラインデータベースなど、幅広い情報の提供を行った。 ●成人向け図書・オーディオビジュアル資料の貸出冊数は3,039,238冊。	○
			②読書会・講演会など成人向け図書館文化活動を実施し、成人利用の増進を図る。	●成人読書会等の成人向け行事を実施した。 ●成人読書会の延べ参加人数は441人で、1館6分室において月1回または2回のペースで実施した。	○
	1-4	高齢者サービスの充実	①高齢者の生涯学習や生きがいづくりにつながる高齢者向けの図書等を充実する。	●高齢者に関心の高い医療、健康、福祉、趣味、社会活動等の資料を購入した。	○
	し、2 ・未図来書に館伝資料を収め系統的に収集	2-1	図書館資料の充実	①枚方市立図書館蔵書計画及び資料選書基準等を策定し、図書館資料を計画的かつ系統的に収集する。	●平成27年度末までを計画期間とする蔵書計画を策定し、市立図書館蔵書の収集・運用のあり方を明らかにした。 ●資料収集にあたっては、各館の蔵書の現状や蔵書バランス、利用者ニーズ等を踏まえて、各館で1次選書を行った。その上で中央図書館での選書会議において全館の蔵書バランス等に配慮した選書を行うなど、職員の専門的な知識・経験を生かした選書を実施した。 ●書庫入れ・修理・除籍・買い替え等の蔵書のメンテナンスにあたっては、蔵書バランスに留意しながら実施した。 ●一般書の蔵書冊数は907,754冊。（うち平成23年度の購入冊数は24,348冊） ●児童書の蔵書冊数は357,831冊。（うち平成23年度の購入冊数は8,531冊） ●オーディオビジュアル資料の所蔵点数は、9,221点。（うち平成23年度の購入点数は90点） ●合計1,274,806冊所蔵。（うち平成23年度の購入冊数は32,879冊）
②蔵書の特色づくりを推進する。				●児童書と枚方地域コレクションの収集に意識的に取り組んだ（詳細は1-2と2-2を参照）。	○
2-2		枚方地域コレクションの構築と専門的なレファレンス	①枚方について書かれた資料、枚方が登場する資料、枚方に縁のある資料など、枚方に関わる資料を幅広く収集し、「枚方地域コレクション」を構築する。	●「枚方」にかかわる歴史資料、郷土資料、市民の著作など幅広く収集した。 ●「枚方」にかかわる歴史資料を調査し収集のためのリストを作成した。 ●図書館の郷土・行政資料の所蔵冊数は、全館合計23,390冊。うち平成23年度に収集した資料は1,339冊。	○
			②枚方地域コレクションに関する簡単な質問から専門的なレファレンス（調べもの相談）に至るまで幅広く対応する。	●市史資料室と連携して、枚方地域コレクションに関するレファレンスを行った。 ●市史資料室における市民等からの来室・電話等による市史等に係る問い合わせの件数は183件。	○

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向性	実績	評価
3 ・市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします	3-1	インターネット予約システムの充実やリクエストサービスの推進	①インターネット予約システムの利便性を高める工夫を行い、利用を促進する。	●インターネット予約システムを、複数の資料をまとめて予約できるカート方式やシリーズものなどをまとめて予約し順次貸出を受けることができるセット予約に対応できるよう改良し、利便性を向上させた。  ●相互貸借を基本に可能な限りリクエストに対応した。 ●市外図書館からの図書の借受冊数は全館合計7,482冊。 ●予約・リクエスト受付件数は全館合計742,566件。	◎
			②リクエストは、市外図書館等との相互貸借等を通じて、可能な限り対応する。 ※予約：特定の図書館蔵書を取り置くよう希望を出すこと ※リクエスト：図書館未所蔵の資料の提供を求めること		○
	3-2	レファレンスサービス（調べ物相談）等の充実	①レファレンスサービス・読書相談機能の積極的な利用を働きかける。	●市民の求めに応じ、学習・研究・調査等に必要な資料や情報の検索の援助、資料の提供、回答、読書相談などを行うとともに、利用案内やホームページ等でサービスの周知に努めた。	○
	3-3	情報通信機器を活用したサービスの充実	①商用オンラインデータベースなどの情報通信機器を生かしたサービスの提供を推進する。	●商用オンラインデータベース（レクシスネクシス・ジャパン [日本法総合データベース]、日経テレコン21、官報情報検索サービス）及び利用者用インターネット端末を利用に供した。また今後提供するデータベースについて検討を行った。 ●商用オンラインデータベース用端末を含むインターネット端末を6,428回利用に供した。	○
			②電子書籍の動向について積極的に調査研究を行う。	●電子書籍の動向については、電子書籍の貸出サービスを導入した公共図書館の動向、並びに図書館での貸出にあたり必要となる電子書籍の著作権処理等に関する調査研究を行った。	○
	4 ・だれもが使いやすい、市民とともに歩む図書館をめざします	4-1	障害者・高齢者サービスの充実	①大活字図書、点字・録音資料、手話・字幕付き映像資料を充実する。	●大活字図書の購入、点字資料・録音資料（カセットテープ・デージー）の製作、手話・字幕付き映像資料の製作を行い、資料の充実を図った。 ●大活字図書を125冊収集した。点字資料3タイトル、録音資料34タイトル（うちカセットテープ23タイトル、デージー11タイトル）、手話・字幕付き映像資料7タイトルの製作を行った。
②対面読書サービスを引き続き実施する。				●中央図書館と全分館、山田分室、市駅前サテライトにおいて対面読書を実施した。 ●対面読書を全館で計546回実施した。	○
③手話で楽しむおはなし会などのバリアフリー行事を引き続き実施する。				●「バリアフリー映画上映会」「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」を実施した。 ●手話で楽しむおはなし会等のイベントを計16回（参加者計330人）実施した。	○
④図書館利用が困難な障害者・高齢者等への宅配サービスについて調査研究を進める。				●障害者・高齢者向けの宅配サービスについて障害者サービス委員会を計6回開催し、検討を行った結果、無料での宅配サービスの実施は困難であるとの結論に至った。	○
4-2		図書館活動への市民参加と市民意見の反映	①図書館ボランティアの活動を一層発展させるとともに、ボランティアが幅広く自主的に活動できるシステムづくりを進める。	●受付カウンターでの総合案内、書架の整理、おはなし会などの子ども向け行事、寄贈図書の整理等のボランティア活動の場を提供するとともに、ボランティア対象の研修会や図書館見学会を開催してスキルアップを図り、ボランティアが自主的に活動できる環境づくりに努めた。 ●ボランティアを対象とした研修を計28回実施した（参考：中央図書館ボランティア活動人数計129人）。	○
			②市民や学識経験者などで構成された外部委員会から意見を聞く。	●図書館運営に第三者の意見を反映させる外部委員会の組織について検討を行った。	○
			③ご意見箱を置くなど積極的な市民意見の収集に努める。	●図書館利用アンケートの実施、中央図書館・市駅前サテライトへのご意見箱の設置、市長への提言等を活用し、市民意見の収集に努めた。 ●ご意見箱への意見件数95件 ●市長への提言6件 ●市民相談課への問い合わせ11件	○
4-3		図書館の施設・設備の改修・改善	①市の市有建築物保全計画の枠組みの中で、必要な施設等の改修を図る。	●市有建築物保全計画に基づく楠葉・蹉跎図書館の給排水工事に併せて、トイレのバリアフリー化及び館内改修を行うことを決定した。 ●香里ヶ丘図書館建具及び自動扉の改修、楠葉図書館空調設備の改修、御殿山図書館自動扉の改修を実施した。	○
	②香里ヶ丘図書館については、バリアフリー化や耐震化の観点から早急に改修・改善を検討する。		●平成24年度の耐震診断結果を受けて、改修・改善について検討することを決定した。	○	

運営基本方針	No.	サービスの種別	主要なサービス展開の方向性	実績	評価
5 ・効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします	5-1	効率的効果的な運営体制の構築	①将来を見据え、正職員司書を中核として、多様な任用形態の職員も活用して最適な職員配置の具体化に向けて取り組む。	●職員配置の見直しを行い、正職員1名を削減した。	○
			②中央図書館、地域館、分館、分室の図書館各施設と自動車文庫については、市内全域サービスを基本としながら、最適な役割分担と配置をめざして「選択と集中」を進め、図書館システムの簡素化を図る。	●自動車文庫26ステーションの設置場所の検証を行い、公道上で開設していた1ステーションを市管理公園内に移設した。	○
			③分室は、サービス圏域や利用状況を踏まえて、施設管理上の安全性やバリアフリーの観点からも、抜本的な再構築を図る。		×
			④中央図書館、地域館、分館、分室の開館時間帯についても、利用状況に即して見直す。		×
			⑤計画的に人件費等の削減を図りつつ、図書館資料の充実など、サービスの向上に努める。	平成22年度と比較して、人件費を約450万円削減した。	○
	5-2	職員の資質の向上と人材育成	①業務の専門性を踏まえた幅広い研修や実習を行い、図書館職員の資質の向上を図るとともに、リーダーシップのとれる人材を育成する。	●図書館業務に関する研修の実施や研修会等への職員派遣を行った。その他職員の育成に必要な研修を行った。 ●図書館基本研修、図書検索及びレファレンスに関する研修、著作権に関する研修など、図書館職員向け研修を延べ92人が受講した。 ●テーマ研修（人権、公務員倫理、メンタルヘルス、接遇）を延べ415人が受講した。 ●日常業務の中で役割に応じたリーダーシップの発揮方法について指導を行った。	○
	5-3	適切な蔵書管理	①図書館資料の適正管理を徹底するため、短期休館による蔵書点検を全館で実施する。	●全館で年1回蔵書点検を実施し、行方不明蔵書等の洗い出し、魅力の薄れた図書の書庫入れ、使用に耐えない図書の除籍等を行った。	◎
			②図書館分館にBDS（図書盗難防止装置）を導入するとともに図書館分室への防犯カメラの設置を検討する。	●各分館にBDS（図書盗難防止装置）を設置した。	○
			③長期延滞等の悪質なルール違反に対する厳正な措置をとる。	●長期延滞等の利用者に対する貸出制限について検討し、枚方市立図書館条例施行規則の改正を行った。 ●平成23年12月、枚方市立図書館条例施行規則を改正した。	○
	5-4	機械化・情報化などの検討	①自動貸出機等図書館サービス用機器について、その機能や費用対効果について研究・検討し、メリットが明らかな機器を積極的に導入する。	●平成23年10月、中央図書館に自動貸出機を1台増設した。年度末までの6ヶ月間の利用実績は、利用者数が3,742人、貸出冊数が12,349冊。	○

進捗管理 全項目数	◎	○	△	×
37	2	32	1	2
100%	5.4%	86.5%	2.7%	5.4%